

第1回 阿賀野市市政モニター会議 議事要旨

1 会議の概要

日時 令和2年9月29日(火) 午後7:00~8:30

場所 阿賀野市役所 第1・2多目的ホール

出席者

【モニター】(敬称略)

渡邊 靖、神田 奈緒、井上 巴、本多 聡美、長谷川 健太、金子 桂子、
田村 直子、斎藤 齊、立木 雄士、加藤 美紀、北村 直之

【市】

市長政策・市民協働課:課長 苅部 一雄、課長補佐 遠海 美穂子、
秘書広報広聴係係長 小林 政仁、同係主事 皆川 佳乃子

2 議事概要

普段の生活の中で感じていること、地域や身の回りで起きている変化、疑問に思うことなど

3 主な意見(○:モニター、●市職員)

【市の組織体制】

○ある意味で、市役所の中で一番大変なのは電話交換手なのではないかと思うことがある。市役所からの文書には課名、担当者名、内線番号などが書いてあるので、それを電話交換手に伝えればよいのだが、そういうことは少ないと思う。電話をした側の言い方が悪くて、希望通りの部署につながらない場合もある。電話交換手は用件の全てを聞いて判断するわけにいかないの、そういったことなどを色々考えると、電話交換手は大変だなと思ってしまう。

○病院には、自分が何科を受診すればいいかわからないときに相談できる総合案内所がある。市役所にも同じような窓口があったらいい。また、他の自治体には「何でもやる課」のような課がある。本当に些細なことだと市役所への電話はなかなかできない。とりあえず、何でも受けて、振り分けを考える人がいるとよい。

○阿賀野市の電話交換手は、こちらの要件がはっきりしていれば、とても分かりやすくスピーディーに繋いでくれて、とても助かる。

【阿賀野市の良さ】

○私は県外から来たが、自分の食べるものを自分で作りたいという希望があり、14年くらい共同で田んぼをやっている。ただの体験でなく、農家ではないが田んぼをやってみたい人の受け皿があるのがすごく大きかった。借家に住んでいるが、家賃も安く、住んでいる集落の歴史が他に比べると浅いので、外から来た人をフラットに受け入れてくれた。子どもが小さいときはお隣さんに預かってもらうことが気軽にでき、子育ては東京よりしやすい印象。東京の子育ては、人にピンポイントで頼ったり、この施設、とかで頼ったりする。自分の友達、親兄弟とピンポイント。こちらだと面で頼れる。お隣がダメなら3軒隣の人とか。横、地域のつながり、深みというか包容力がある。

【市役所の中途退職者、休職者】

○数か月前に「財界にいがた」に出ていた記事(中途退職する人が多いとか、体調を壊している、休職している人が多いとか、そういうのが数年前と比べて増えているという記事)を職員はどう思っているのか。また、この記事が事実なのかを知りたい。

●この場で、私たちからそれをお答えしていいかどうか、判断に迷うので、即答はし兼ねるが、一旦はご意見として承る。

○本件は市役所に限らない問題である。メンタルヘルスについては、一昔前に比べて増えていると答えるところが多いはずで、阿賀野市役所が減っているとか少ないとかは言わないが、それだけをクローズアップして取り上げるかどうかということのような気がしている。

【保育所、認定子ども園】

○京ヶ瀬地区は、住宅街を造っている割に保育園が一つしかない。京ヶ瀬保育園の入園を希望する人数が多いから抽選や選別などあるだろうが、元々京ヶ瀬に住んでいたのに、京ヶ瀬保育園に入れないのかと思うところもある。他の地区の保育所はまだ入れると言われたが、京ヶ瀬に住んでいながら、他の地区まで行くのかとの思いがある。元々の住人は祖父母がいる家庭が多く、新しく引っ越してきた人は核家族が多い。家庭に子どもの面倒を見る人がいないから優先というのは分かるが、それを言われると、引っ越してきた者勝ちみたいに感じる。それなら保育園を増やしてほしい。

○保育園、幼稚園、こども園は民営化した。民間であれば、認可が必要であるにせよ、京ヶ瀬に若い世代が増えて需要があり、商売として成立するならば、民間が保育園を建てようとなるのではないか。

●民間保育園等は行政が認可し、また園を建設する際は市の補助金に頼るところもあると思うので、市の方針は少なからず影響してくる。

○聖籠町のように、若い世代にどんどん来てもらうためのインフラを整備し、医療費も保育料も無料にするということを政策として誘導しているなら、市として園整備をしていくということだと思う。結局、ニワトリが先か卵が先かということ。私も転勤でいろいろな所に行ったが、市町村によって入園条件も違って、さまざまだった。簡単に入る所もあるし、安い所もある。

【安田中学校前の道路の駐停車】

○安田中学校は朝と帰りに、子どもたちを送り迎えに来る車が 10 台も並ぶ。この町内では、家の前に駐車場がある、あるいは家と並行して駐車場があるので、前を見るにも見づらい、バックで入ろうものならこれも見づらい。しかも数年前に、両方に駐停車禁止の青いライン(自転車通行が優先される印のライン)を引いた。駐在さんが回ってきたときに何度も話をさせてもらったが、「これから注意に回ってください」と言っても、一度も回ってこないし、「次の方と異動があって変わるときは必ず引き継ぎます」と言っていたのに、次の方に「そういうことを聞いていますか」と聞いても、「聞いたことない」と言っていた。

中学生が事故に巻き込まれたら大変である。結局事故が起きなければ動かないのかと思ったりもする。

○先週PTA会長だけの集まりがあったが、今の話は出ていた。毎年毎年言っているし、学校側も教育委員会も困っているみたいな話はしていた。地域の方が困っているという話や次の対応についての話も出ていた。

【インフルエンザ予防接種の助成】

○子どものインフルエンザ予防接種の助成について、今回は2回とも助成するという案内が届いたが、新型コロナの関係で今年だけのものなのか。できれば今後も 2 回とも全額助成をしてほしい。

●今回の助成は、新型コロナとインフルエンザの同時感染を防ぐためのものである。

○実際、2 回目の一部の助成だと、子どもが多い家庭は、インフルエンザの予防接種だけですごくお金がかかってしまう。子どもは医療費が安いので、インフルエンザと診断されれば、本当に苦しむのは数日間だけだから、予防接種を受けずにお金を節約しようと思う方がいるというのは聞いたことがある。できたら今回の助成を続けてもらえればいいと思う。

○私が市に確認したところ、「今回の無償化は広報紙でしかお知らせしない」と聞いた。確かに今年度限りと広報紙に載っていた。昨年まで、65 歳以上の人には 1,620 円で受けられるという案内と問診票が送られてきている。私は子どもも同じだと思っていた。

○助成の案内と、子どもの名前や受診機関などを書く書類は来ていたが、問診票は入っていなかったと思う。これまでは2回目の接種料が安く済み、今回は1回目、2回目とも無料で。

○65 歳以上と中学生以下が今年度に限り無料なので、その案内が届いたと。

○多分、対象の子どもがいる家庭には届いていると思う。

○広報紙でしかお知らせしないという話だった。健康診断の場合は、翌年4月1日の年齢で問診票が来るが、インフルエンザの助成は接種日の満年齢である。だから 64 歳で早生まれの人は、年明けまで待ってられないので、10～12 月に予防接種すると無料にならない。そういう情報も含めたお知らせがない。去年は該当者に通知が送られてきているので、分かったが、今年はない。無料化を知っていようがいまいが、市内の医療機関で接種すると無料だと言われるだけのこと。

【市のボランティア情報】

○市のボランティア情報がどこに掲載されているか分からない。ボランティアは就職や進学の際の面接に有利であったり、楽しみたいという人もいて、やりたい気持ちを持っている人が多いが、目に触れる所がないから、やりたくてもできなかったり、知らなかったりする人もいると思う。高校では、結構な頻度で情報が掲示されているため、色々なボランティアに参加することができたが、市のボランティア情報は、目に触れる所がないので、小中学校などにあれば、参加する人が増えると思う。

●市では、ボランティア参加者にポイントを付与する事業をしていて、市社会福祉協議会にお願いしている。市社会福祉協議会のホームページを見ると、どんな団体がボランティア募集しているかが分かる。ただ、そこまでたどり着けない問題もあるので、もう少し分かるようにお知らせしたい。

【市営バス】

○市営バスは18時台が最終になっていて、阿賀野高校生の行き帰りにしか使えなさそうな時間帯だと思う。新発田の高校に行っていると、帰りが19時台、20時台のことが多く、ぎりぎり乗れない時間帯が多いので、19時台、20時台に1本ずつでもあると帰って来やすくなり、親の負担も軽減されると思う。

【水原駅前の混雑】

○水原駅の駐車場は広いが、広いのを利用できていない。水原駅は、迎えに来る車がズラっと並んでいる。あんな立派な駐車場があるのに、なぜこうなるのか。市が言えば改善されるものなのか。

○駅前の丁字路は迎えの時間になると、右左折できない、駅から出てくる車が数珠つなぎになる。奥に空いている場所があっても、入ると出にくいから、みんな手前で待っている。冬になると状況はさらにひどい。駅前はその時間帯に通りたくないというのが正直なところ。警察がその時間に立っていれば、解消されるかもしれない。また、駐車場の手前に送迎専用スペースが約10台分あるが、通勤者がそこに止め、朝7時を過ぎると満杯になる。

○水原駅の駐車場は、奥側も全く空いていない日もある。車が繋がってしまうと帰るのも大変で、前の車が出るまで待っていないといけない。駐車場がもう少し広ければいいと思う。止める場所がないと端に止めるしかなく、そうはしたくないが、せざるを得ない。また、前のほうに止め、送った人がなかなか動かないことがある。ロータリーみたいな感じで、送ったら帰るルールのようにになっているが、電車が来るまで子どもを待っている人がいると、ちょっとした渋滞になる。

○線路沿いも、駅前の方も止められても交通の妨げになる。駐車場の一番奥からガルボ側の道路に常時出られるようにすれば、分散して解決するかもしれない。ただカーブで、バス停もあるので、事故の危険性があるかもしれない。一方通行にするのはどうか。

○水原駅は、危険だとか車が動けないとか、これだけの意見が出ている。意見を聴いたら、即担当部署と警察で対応してほしい。次回までに回答するとか、担当部署や警察にお願いしたけどダメだったとか、それでもいい。できる範囲で何かしらの対応をしてほしい。

●今の意見については、警察につなぐかは別にしても、明日にでも担当部署には話をしたいと思う。

【市のマスコミ対応、PR】

○「鶴瓶の家族に乾杯」に阿賀野市が出たとき、水原代官所が出たと思って喜んで見ていたら、職員が説明できず、面白おかしいとこだけ取り上げられて、終わってしまった。この件に対して周りからは辛辣な意見も聞かれたが、他から観光客が来た時、誰が来ても説明できる人が常時いる状態にないのか。その後は改善されているのか。

○私も見ていたが、テレビだからどの部分を編集して使っているか、人間らしさがないとか、その後どう対応したかとか、その人がどういう立場の人なのかとか、テレビでは伝えない。

●「鶴瓶の家族に乾杯」で、TV局と市でどういう約束になっていたか分からないが、「天才！志村どうぶつ園」で瓢湖が出たときは、見ていて恥ずかしいという印象は受けなかったと思う。事前に趣旨を伝えられていれば担当者も受け答えできるし、準備して臨めるので、対応はできると思う。

○TV局の人と関係なく、突然やってきたときに説明ができるよう勉強会などはしていないのか。説明できる人がいれば、歴史を勉強したい人がたくさんくるのではないか。また、代官所は駐車禁止になって観光バスが止まれない。せっかく作ったのにもったいない。

【五頭温泉郷のインターネット環境】

○村杉、今板、大日は通常の光回線ではなく、マンションタイプの市の回線に入っている。そろそろ通常の光回線にしてほしいとずっと思っているが、どこに意見したらよいか。ネットで何か調べようとするときにとても遅いし、家電量販店などにある光回線プランの契約特典も一切受けられないので、不便を感じる。

【人口減少対策】

○例年だと神山小学校の新入生は 15 人くらいいるが、来年は 4 人しか入ってこない。親たちからは笹岡小学校と統合したいという話も出ている。市全体でも人口は減っていて、魅力がないのか。例えば、聖籠町のように子どもの医療費が安いとか、そういう魅力があれば、新しく人も来るのではないかと。日本人は一軒家を建てるのが夢だと思う。京ヶ瀬地区は人口が増えて困っているが、笹神地区は人口が減っていて困っているので、とても羨ましい。各地域に住宅街を造れば人口が増えるのではないかと。

【子育て支援】

○3人目を出産した人への助成金、チャイルドシートの助成金が合併後になくなった。子どもを産み続けるたびに助成がなくなっていく。他の地域(市町村)は、4人目、5人目になるとお祝い金をたくさんもらえると聞く。

○人を育てるために予算を使ってほしい。3人目、4人目、5人目への支援は最初やるべきものと思う。(全ての小中学校等への)夏場のエアコン全室設置は良かった。この春に設置率が100%だったのはすごいと思うし、ありがたいと思う。